

2025年度 授業コード: 22113300

授業科目	保育内容の理解と方法Ⅲ				実務家教員担当科目	○					
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	上村 眞生										
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育士としての実務経験を踏まえ、保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術について実践例を踏まえて解説する。 ・ 子どもの遊びの展開を援助することができる。 										
授業形態	対面授業			授業方法	実習						
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>子どもの遊びについて理解し、展開の仕方がわかる</p> <p>子どもの玩具・教材の選定、作成ができる</p> <p>幼児の遊びに関わる環境構成について、積極的に体得しようとする</p> <p>幼児の遊びを発展させるための環境構成・保育の展開ができる</p>										
理想的 レベル	<p>子どもの遊びについて理解し、展開の仕方がわかる</p> <p>身近なものを活用した独自の子どもの玩具・教材の選定、作成ができる</p> <p>幼児の遊びに関わる環境構成について、積極的に体得し、実践しようとする</p> <p>幼児の遊びを発展させるための環境構成・保育の展開ができ、自己評価・改善の提案ができる</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）		40									
レポート外の提出物		60									
その他											
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21626J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
半期間で出す課題について整理しておくこと										1	
授業計画											
第1回	オリエンテーション 授業の進行方法・評価について説明する										
第2回	遊びについて1：幼児の遊びについて 乳幼児の遊びとそれを引き出す保育者の保育技術の関係性について解説する										
第3回	遊びについて2：保育者に求められる技術 保育者の保育技術の内容、手法について説明する										
第4回	保育の技術1：遊びに関する知識 体を動かす遊びに必要な知識を教授する										

第5回	保育の技術2：遊びに関する技術 体を動かす遊びに必要な実践技術を教授する
第6回	保育の技術3：制作活動に関する知識 制作活動に必要な知識を教授する
第7回	保育の技術4：制作活動に関する知識 制作活動に必要な知識を教授する
第8回	保育の技術5：表現遊びに関する知識 表現遊びに必要な知識を教授する
第9回	保育の技術6：表現遊びに関する知識 表現遊びに必要な知識を教授する
第10回	保育の技術7：乳幼児の遊び 乳幼児の遊びに関連する発達、技術について説明する
第11回	保育の技術8：乳児の遊びと指導法 乳児の遊びを引き出す保育の展開について説明する
第12回	保育の技術9：3歳未満児の遊びと指導法 3歳未満児の遊びに関連する保育技法を経験する
第13回	保育の技術10：幼児の遊びについて1 3歳以上児の遊びに関連する技法を経験する
第14回	保育の技術11：幼児の遊びについて2 3歳以上児の遊びに関連する技法を経験する
第15回	まとめ
テキスト	資料を配布する
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	適宜指示する
課題に対するフィードバックの方法	各課題への評価コメントを提示する
学生へのメッセージ・コメント	幼児が使う造形に関わる道具（ハサミ・カッター・絵具・クレパス等）について、事前に使用しておくこと 幼児が使う道具（ハサミ・カッター・絵具・クレパス等）を準備・手入れしておくこと 授業で扱える内容には限りがあるので、可能な限り自分で表現の幅を広げるために、本を読んだり、実際に製作してみたりすること